

栄養ケア・マネジメントの取り組みについて

ソイル栄
栄養士 川島朋子

1.<施設の特徴>※HPより一部抜粋

ソイル栄は、栄区にある、入所型の知的障害者支援施設です。
障害程度区分4以上かつ、18歳以上の方が利用されています。
(入所定員：50名、短期利用定員：～10名)



2.<栄養ケア・マネジメントの流れ>

現在、加算の申請や体制等の諸々の関係で、マネジメントの本格実施とまでは至っていませんが、利用者の支援計画書の付属記録としての位置づけで行っています。

～ソイルでの年間の流れ～

3～4月 「支援計画書（栄養計画書）」※資料1 作成。

支援職員と前年度の要点部分を検討の上、作成し、管理職・班長の決裁もらう。
支援計画書の面談時に、保護者の承認を貰う。

☆本来であれば、アセスメント・モニタリングの記録表を記入であるが、
ソイルでは、利用者の障害特性（服薬調整や季節、外的要因による
食事状態の変化が見られる方が割と多い）により、

1か月毎に「経過観察表」※資料2を記入。（全員分）

1か月毎の体重変化・喫食状況・体調の確認と考察記入を行う。

9月 「支援計画書の間まとめ（栄養計画書間まとめ）」

★特に大きな問題の起きた利用者に関してのみ、再度計画書を作成・提示する。

☆「経過観察表」※資料2を記入。（全員）

引き続き、1か月毎の体重変化・喫食状況・体調の確認と考察記入を行う。

3月 「支援計画書（栄養計画書）のまとめ※資料3

・次年度の支援計画書（栄養計画書）」※資料4 準備。

年間の食事状況と、保護者からの栄養に関する要望等あれば、
考察を支援員とし、次年度の計画書作成準備をする。

3.<栄養ケア・マネジメント実施の効果>

現状としては、実施した事で、各署での利用者の食事状況の把握がしやすくなったことがあります。一部の利用者さんの中には、ダイエットに成功した方や、食事形態の調整、持病を持っている方の体調の安定などに効果があったように思います。

計画書の書式に関しては、本来の標準的な書式から大きく崩し、専門用語や数値の提示をなるべく避け、問題部分を文章で記載しています。この書式方法ですと、職員との考察時や高齢のご家族との面談時に情報が読み取り易く、説明も容易になっている印象があります。

（実際事例1：ダイエット対応者）

※添付資料参照

入所時から肥満傾向にあり、糖尿病と体調不良の懸念が医師よりされていました。家庭では、食事管理が難しく、好きな物を自由に喫食する生活だった様子です。栄養計画に添って、日々の支援員による食生活サポートと、楽しみな外食等の食事イベントをメリハリをつけて取り入れながら、調整していきました。体重の推移も報告しながら、本人の意欲につなげ、現在は標準体型をキープして生活されています。

<補足> 栄養マネジメント加算申請可能な書式とするには、
保護者の意向欄と同意の欄の記載が必要。

資料1

栄養ケアプラン

施設長	サービス管理責任者	サービス提供責任者

利用者名

Aさん

作成日	2013/4/1
実施期間	2013/4/1～2014/3/31
担当職員	
作成者	栄養士:川島 朋子

利用者 栄養関連情報	年齢(歳)	54	推定エネルギー 摂取量(kcal/日)	1496～1623
	身長(cm)	142.7		
	体重(kg)	53.5	BMI	26.3
	標準体重(kg)	44.8	併存症	糖尿病傾向経験あり
現状	<p>これまでの食事状況を記載。誰が見ても理解できるように文章化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所当時、肥満傾向であった。甲状腺の腫瘍と肥満により気道が狭まる息苦しさもあり、血糖値が高く、糖尿病が懸念されていた為、ダイエットを医師より指示されている。現在、運動と糖質量に注意した食事制限で体重53.5kgでBMI26.3(平常値:18.5～24.5)になり、あと一歩までせまる。 ・推定エネルギー必要量1496kcalのところ、1400kcalにて提供していたが、運動・作業が習慣化してきたため、運動量の見直しと、それに伴い、食事量の見直しが可能となってきた。 ・運動は日課の作業と散策を行い、多くなってきた。・間食は喫茶とおやつ摂取あり。 			
目標・方針	<p>血糖値を安定化する食生活の実行</p> <p>方針1:1400→1600kcalへ引き上げ。炭水化物(糖質)の多量摂取は控える。 (1食にご飯130gまで、食パンは8枚切り2枚・ロールパン2個まで、麺類は170g、おやつ等の砂糖は極力控えめかゼロシュガー使用)</p> <p>方針2:食事中は慌てず良く噛んで食べる。</p> <p>方針3:継続して運動をする。(作業や散歩等)</p>			
担当からの意向	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の「頑張っている」気持ちを尊重した声かけを行ない、モチベーションを保っていく。 ・食事中の声かけを継続し、良く噛んで食べるよう促す。 ・日課の作業を散策を継続し、適度な運動を続けていく。 <p>書類自体は、施設内のパソコンネットワークでファイル共有されているので、24時間記入可能。</p> <p>栄養士の記入した内容に関して、職員が保護者からの意向内容も考慮し、記入する。</p>			
栄養上留意すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿予防で適切なカロリー摂取とダイエットが医師より指摘されている。 ・最近では散歩や日課作業の継続で運動量が増えた。 ・清涼飲料が好きでついつい飲みすぎることがある。 ・徐々に体重が落ちてきた。 ・早食い傾向である。 			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外食では自分で、カロリーを気にして料理を選ぶことができる。 ・調理に関心があり、自炊の意欲がある。 			

資料2		経過観察表①				経過観察表②					経過観察表③				
		氏名 Aさん				氏名 Aさん					氏名 Aさん				
		身長 142.6 cm				身長 142.6 cm					身長 142.6 cm				
月日	4月 15日 (月)	5月 15日 (水)	6月 14日 (金)	7月 15日 (月)	月日	8月15日 (木)	9月 16日 (月)	10月 15日 (火)	11月 15日 (金)	月日	12月16日 (月)	1月 15日 (水)	2月 14日 (金)	3月 14日 (金)	
体重	51.6kg	51.4kg	49.9kg	49.7kg	体重	49.1kg	48.2kg	48.0kg	47.6kg	体重	46.8kg	47.5kg	46.3kg	kg	
BMI	25.4(kg/m ²)	25.3(kg/m ²)	24.5(kg/m ²)	24.4(kg/m ²)	BMI	24.1(kg/m ²)	23.7(kg/m ²)	23.6(kg/m ²)	23.4(kg/m ²)	BMI	23.0(kg/m ²)	23.4(kg/m ²)	22.8(kg/m ²)	(kg/m ²)	
体重減少率	1ヶ月に - (増・減)	1ヶ月に 0.4% (増)	1ヶ月に 2.9% (増)	1ヶ月に 0.4% (増)	体重減少率	1ヶ月に 1.2% (増)	1ヶ月に 1.8% (増)	1ヶ月に 0.4% (増)	1ヶ月に 0.8% (増)	体重減少率	1ヶ月に 1.7% (増)	1ヶ月に 1.5% (増)	1ヶ月に 2.5% (増)	1ヶ月に % (増)	
食欲	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	食欲	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	食欲	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	5(旺盛)・4(普通)・2・1(不振)	
備考:					備考:					備考:					
問題点	有	有	有	有	問題点	有	有	有	有	問題点	有	有	有	有	
考察	ダイエット順調。特に問題なし。	ダイエット順調。特に問題なし。	順調。BMI適正範囲内になる。特に問題なし。	特に問題なし。	考察	特に問題なし。	特に問題なし。	特に問題なし。	特に問題なし。	考察	特に問題なし。	クリスマスなど食事を楽しむ機会多く、若干の戻りがあるが、許容範囲内。特に問題は無し。	目標体重になった。今後は食事を適正に戻していく。		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 一か月毎の体重計測結果と喫食状況を記入していく。 </div>															
栄養ケア提供経過記録					栄養ケア提供経過記録					栄養ケア提供経過記録					
月日	行ったことや記録、気になった点など				月日	行ったことや記録、気になった点など				月日	行ったことや記録、気になった点など				
5月1日	棟での外出あり、ピクニックに出掛ける。事前に食事量の提示を行う。				8月9日	作業場の納め会を実施。ケーキの提供あり。				12月20日	還元金セレモニー実施。軽食+デザート提供あり。事前に食事内容微調整を行う。				
6月13日	棟毎にBBQ会食を実施。食事内容の調整・指示を行う。表情良く、安全に喫食されている。				8月13日	そうめん会食実施。栄養量調整を行う。楽しく過ごされている。				12月21日	クリスマス会実施。事前に喫食量の調整を行う。				
					8/12~14	外食実施。栄養量調整し、食事内容の事前提示を行う。				12月27日	納め会実施。デザート提供あり。事前に内容調整を行う。				
					9月21日	ソイル祭りに参加。食事選択のための事前情報提示。				1/2~3	自炊・外食実施。食事量の調整を行い、事前提示。				
					10/2~4	2~3日:ソイル旅行。4日:外食実施。事前の喫食対応の調整提示。手配を行う。楽しく過ごされている。									
					11月12日	棟での自炊食事会実施。食事量の調整を行い、事前提示。									

栄養のケアや特に注意した事項に関する記録を記入。(特に医師からの診断等の方が多い)

資料3

栄養ケアプラン(H25まとめ)

施設長

サービス管理責任者

サービス提供責任者

利用者名 Aさん

作成日 2014/3月

担当職員

作成者

栄養士:川島朋子

目標・方針	<p>血糖値を安定化する食生活の実行</p> <p>方針1: 1400→1600kcalへ引き上げ。炭水化物(糖質)の多量摂取は控える。(1食にご飯130gまで、食パンは8枚切り2枚・ロールパン2個まで、麺類は170g、おやつ等の砂糖は極力控えめかゼロシュガー使用)</p> <p>方針2: 食事中は慌てず良く噛んで食べる。</p> <p>方針3: 継続して運動をする。(作業や散歩等)</p>	前年度の反省・課題を考察する。(支援職員&栄養士)
目標・方針についての経過と考察	<p>(担当)午後の作業で集団散策に参加することで継続して運動を続けている。本人も体重を見て成果が出ていることを喜んでいる様子である。早食いに関しては、職員から「良く噛んでね」や「どんな味がする？」などの声掛けを行ってゆっくり食べられるよう支援している。</p> <p>(栄養士)運動の継続と食事制限で適正体重となった。また、早食いに関しては職員の声掛けあるものの、食べる事が好きである為、なかなか直す事は難しいようではある。今のところ、量に物足りなさを感じている様子ではあるが、むせ込み等に問題は無いため、様子を見ていく。運動は表情良く継続実施出来ている為、設定食事量を本来の量に引き上げ、ある程度の間食は楽しめる様に徐々にしていきたいと思う。</p>	
今後の課題	適正体重の維持と生活習慣病の予防	次年度へ向け、新たな課題、変更点の記載。
(変更ある場合の)目標・方針	<p>適正体重の維持と生活習慣病の予防</p> <p>方針1: ダイエット食を中止し、1600kcalの適正摂取エネルギー量に修正。</p> <p>方針2: 間食は100kcal以内で選べるようにしていく。</p> <p>方針3: 作業や散歩等継続した運動をする。</p>	

資料4

栄養ケアプラン

まとめの考察をもとに
新年度の計画書を作成。

施設長	サービス管理責任者	サービス提供責任者

利用者名

Aさん

作成日	2014/3月
実施期間	2014/4/1～2015年更新月まで
担当職員	
作成者	栄養士:川島 朋子

利用者 栄養関連情報	年齢(歳)	55	推定エネルギー 摂取量(kcal/日)	1621
	身長(cm)	142.6		
	体重(kg)	46.3	BMI	22.8
	標準体重(kg)	44.7	併存症	糖尿病傾向経験あり

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・入所当時、肥満傾向であった。甲状腺の腫瘍と肥満により気道が狭まる息苦しきもあり、血糖値が高く、糖尿病が懸念されていた為、ダイエットを医師より指示されている。現在、運動と糖質量に注意した食事制限と運動実施でBMI(平常値:18.5～24.5)適正値になった。 ・目標体重になり。運動・作業も習慣化してきたため、推定エネルギー必要量見直し、1621kcalのところ、1600kcalに食事設定アップし提供予定。間食も、100kcal内で楽しめるものを摂取可としていく。 ・運動量は日課の作業と散策を行い、多い。
目標・方針	<p>適正体重の維持と生活習慣病の予防</p> <p>方針1:ダイエット食を中止し、常食1600kcalの適正摂取エネルギー量に修正。</p> <p>方針2:間食は100kcal以内で選べるようにしていく。</p> <p>方針3:作業や散歩等継続した運動をする。</p>
担当からの意向	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の際の咀嚼を促す声掛けを継続していく。 ・午後の集団散策に参加し、日々の運動を継続していく。 ・栄養士と相談して選べるおやつを増やし、運動を頑張った成果として本人の喜びとモチベーションの維持に繋げていく。
栄養上留意すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿予防で適切なカロリー摂取とダイエットが医師より指摘されている。 ・散歩や日課作業の継続で運動量増えている。 ・清涼飲料が好きでついつい飲みすぎることがある。 ・ダイエット達成し、標準体重となった。 ・早食い傾向である。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外食では自分で、カロリーを気にして料理を選ぶことができる。 ・調理に関心があり、自炊の意欲がある。

書類自体は、施設内のパソコンネットワークでファイル共有されているので、24時間記入可能。